

た の

ね



暖かな春の陽気を楽しみにしたくなるほど肌寒い日、逆に日差しが強く初夏を感じさせる日・・・そんな「春」も、あと1か月ほどで終わってしまいます。

日本は、季節感をとても大切にしている国だと言われているそうです。世界各国、ほとどの国にも「四季」はあります。しかし、雨期や乾期がはっきりしていたり、どれか1つの季節だけが突出していたり

するので、印象的ではないのかもしれませんがね。そのため、約3か月で季節が変わること、春は桜・夏は海・秋は紅葉・冬は雪などと季節の特徴を楽しむ習慣があること、そして季節の食べ物や「旬」として味わうことなどは、他国から見ると、季節感をとても大切にしていると思われるそうです。四季を愛でる気持ちが、風習や慣習として残っているのでしょう。その先人の想いは、音楽の世界にもしっかりと根付いています。

今回は、今の季節・春にぴったりの曲をご紹介します。各学年の教科書に載っているページも明記しますので、参考にしてください。

立川市立大山小学校
音楽科通信 第5号
令和2年4月28日
音楽科 大野 智子



- 1年生：P.10「ひらいた ひらいた」
P.76「おつかい ありさん」「ちゅうりっぷ」「ちょうちょう」
P.77「ぞうさん」「めだかの がっこう」 P.78「ことりのうた」「こいのぼり」
- 2年生：P.68「はるがきた」
- 3年生：P.10「春の小川」 P.14「茶つみ」 P.71「どこかで春が」
- 4年生：P.08「さくら さくら」
P.68「みかんの花さくおか」「せいくらべ」「みどりのそよ風」
- 5年生：P.12「こいのぼり」
- 6年生：P.12「おぼろ月夜」 P.40「花」 P.43「荒城の月」



この他にも、卒業・入学にイメージされるように、出会いや別れにちなんだ曲もありますね。各学年の音楽の教科書には『日本の歌を 歌い継ごう』というページがあります。2～3曲の掲載ではありますが、どの曲も「四季」を感じ取ることができます。

昨今、地球温暖化などの環境変化によって、残念ながら四季が明確ではない年も増えてきました。ぜひ、今日のこの音楽科通信をきっかけに、季節の歌を聴いたり歌ったりしてみませんか。きっと、昔の人の思いや生活を知るチャンスにもなりますよ。

